

6月の
定例会

② こんなことが決まりました
6月定例会

④ ズバリ!! 町政を問う
4議員が質問

⑩ 常任委員会報告
総務文教・産業厚生・学校訪問

⑮ 全員協議会報告
町の重点事業について徹底議論!!



富岡町議会の
ホームページはこちら

富岡町議会議事堂(議員席)

一般会計 補正予算 各種給付等による増額

《1億4,271万円を増額補正》

各種給付等により1億4,271万円の増額補正を行い、総額152億4,016万円となりました。補正のあった事業は下表のとおりです。

事業内容(費目名)	補正予算額
自立支援事業費(委託料)	80万円増
物価高騰対応経済対策給付金事業費(給付金 他)	2,586万円増
新たな経済に向けた給付金(給付金・委託料 他)	6,975万円増
児童福祉事務諸経費(委託料 他)	64万円増
防災事務諸経費(工事請負費)	154万円増
その他	4,412万円増

答 生活環境課長
今回使用する防水シートは遮光性があり、雑草繁茂の抑制効果があるため防草シートとして活用する計画です。浸水性はありませんが、東側の法面へ施工するため、水は流れ落ちるように設置します。



防災備蓄北部倉庫の東側法面

議員が切り込む!! 質疑応答
【一般会計補正予算】
問 学びの森の屋上に施工されていた防水シートを防災備蓄北部倉庫(夜の森児童館跡地)の敷地に防草シートとして敷き込む工事が予定されているが、草の繁茂は抑えられても、水を通さないことで降雨の際に土地への影響や問題が発生する恐れがあるので。(渡辺三男)



定例会審議議案一覧

令和6年第3回定例会で審議した議案とその結果

審議議案・概要	結果
◆専決処分の報告及びその承認	
議案第34号 富岡町税条例の一部を改正する条例について	全会一致 原案可決
◆条例の一部改正	
議案第45号 富岡町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	全会一致 原案可決

※第3回定例会における「工事請負契約」、「人事案件」は下記、「一般会計補正予算」は左記に詳細を掲載しております。また、各議案については富岡町ホームページにおいても報告しておりますので、ご参照ください。

[甚吾沢ため池放射性物質対策工事]

特定復興再生拠点区域の解除に伴い利用可能となるため池について、利用者の被ばく低減等を目的に池底に溜まった放射性物質を含む底質を除去するための工事について可決しました。

(6月定例会) 全会一致 原案可決

【工事請負契約の概要】

- 工 期 令和7年3月21日
- 金 額 1億6,500万円
- 契約相手方 福島県双葉郡富岡町大字本岡字王塚332番地の3 株式会社高葉建設



甚吾沢ため池(新夜ノ森地内)

工事請負契約

こんなことが決まりました



人事案件

農業委員会委員の任命に同意

(6月定例会) 原案可決
農業委員会委員10名の任命に同意しました。任期は令和6年7月8日からの3年間です。



塚野 芳美さん	渡邊 康男さん
林 秀樹さん	猪狩 秀信さん
石井 功さん	深谷 昇さん
笹山 光政さん	小坂 竜也さん
佐藤 清隆さん	山口輝久雄さん

※議案順



安藤 正純 議員

問 耕作面積に応じた奨励金を

答 機械損料増を加味し検討

問 数多い支援事業の中で基盤整備事業が作業効率向上による営農規模拡大に繋がり、担い手不足には最も効果的と考えるが、進捗状況について伺いたい。

答 町長 農地中間管理機構を活用することは、農地の集約化が進み営農が再開し自立化が図られたと判断されるため、これまでの管理耕作や圃場の均平化などの福島県営農再開支援事業は活用できなくなりました。移行については引き続き地域の皆さまと協議を進めます。

問 担い手への農地集積・集約推進事業としてJAによるマッチング作業が令和7年で終了する。その後は県の農地中間管理機構が引き継ぐのか。

答 産業振興課長 ご提案のありましたスケールメリットの部分は即答することはできませんが、面積が広くなればなるほど機械損料関係も増えてくることを加味したうえで上げていく点についてしっかりと検討します。

問 専業で大きく農業経営をされる方には、継続性のある手厚い支援が必要であるとの考えから、面積を広くすることによって作物奨励金も上がっていくというメリットを付けるやり方をすれば耕作放棄地の解消につながると思うが。

答 町長 本町においては地権者や担い手の意向確認ができた地域から順次、基盤整備を進めるとの考えのもと、令和2年度から事業を開始しています。令和5年度までに取り組んだ成果としましては、6地区約83ヘクタールであり、今年度においても新たに3地区約7ヘクタールの整備を予定しています。

令和5年度に基盤整備を行い
水稻作付が始まった水田

問 農業経営基盤強化促進法により「地域計画」を令和7年3月まで策定することとなっているが、町は概ね10年後の農業をどのように描いているか伺いたい。

答 産業振興課長 移住交流推進機構から、隊員がなぜその地域に行くのかというのは、非常に志が高い部分と、自分の能力を活かしてその地域で起業したいという気持ちがあり、非常に重要な点であると助言をいただいております。

問 地域おこし協力隊員を将来的に経営者として地元営農者と一緒に起業できる仕組みを模索すべきでは。

答 町長 次世代に繋げる農業への着実な一歩を踏み出すことを農業復興のテーマに掲げ、放射性物質の測定体制の充実、既存農業

問 持続可能自治体への戦略は

答 財源確保と、事業の選択と集中

問 本年4月、民間組織「人口戦略会議」が将来的に消滅の可能性があると見なした市町村に、県内では33市町村が該当した。本町では個別の算出はしていないが、持続可能な自治体を目指すための戦略をどのように考えているか伺いたい。

答 町長

町有施設の維持管理や運営などに要する経費の増大が想定されることから、町税はもとより復興財源をはじめとする国や県の交付金・補助金の確保に全力を挙げると共に、各種基金を計画的かつ有効に活用しながら、あらゆる経費の徹底した見直しによる事業の「選択と

答 福祉課長

ご提案の数字で算出しますと、年間1,200万円の支出となり、800万円の増額となります。現行の数字は15年以上前に改正されていますので、財政上の兼ね合いも含め、物価上昇という点も加味しながら今後検討します。

問 人口増の対策として出産祝い金を支給する制度で、現行の第1子・第2子5万円、第3子以降20万円から第1子・第2子20万円、第3子以降50万円と増額してはと考えるが。

の再開と新たな作物へのチャレンジ、営農環境の整備・改善による担い手の確保を継続的に取り組むことを考えています。

一般質問

一般質問は、議員が町の行財政全般にわたって執行機関に問題点をだし、所信の表明を求めて政治姿勢を明らかにするものです。

ズバリ!! 町政を問う



4 議員が質問

6月定例会の一般質問に4議員が登壇し、町の対応や考えなどを問いました。この紙面では、質問した順に質疑応答の要点をお知らせします。

1 安藤 正純 議員 5

- 耕作面積に応じた奨励金を
- 持続可能自治体への戦略は



2 高野 匠美 議員 6

- 子育て支援で保健センターの活用を
- 5歳児健診の有効性について



3 辺見 珠美 議員 7

- 未来ある若者に対する金銭的サポートとしての奨学金は
- 子どもの一時預かり環境の更なる向上は



4 平山 勉 議員 8

- 富岡駅前の環境整備が遅れている
- 病児・病後児保育の導入を



動画配信中!



※QRコードを読み取ると各議員の一般質問動画が見られます。



※山本町長の一般町政報告はこちらから



山本 育男 町長



岩崎 秀一 教育長



辺見 珠美 議員

問 未来ある若者に対する金銭的サポートとしての奨学金は

答 既に実施している自治体の制度等を調査し検討していく

問 教育長 ご提案の富岡町奨学金の貸与を受けた者が町に戻ってきた場合において、免除や返還金を補填することについては、定住の促進や地域活性化を図る上で一つの方法であると考えています。

教育委員会としては、既に実施している自治体

問 富岡町の奨学金制度は、貸与を受けた奨学金は必ず返還する必要があります。地域の支えで未来ある若者たちの学業をサポートし、その学びを地域のために生かしてもらえるよう、卒業後に町に戻ってきた若者に対して、金銭的負担を軽減する取り組みとして、返還を免除する奨学金制度はどうか。

問 教育総務課長 奨学金については基金条例をもとに貸し出しを行っており、現在、基金の残高は約4億1,300万円です。

問 現在の奨学金制度の資金状況は。

問 教育総務課長 どのような手法がとれるか、鹿児島県の例を参考にしつつ、福島県内の事例も参考にして検討をしたいと考えています。

問 鹿児島県長島町では、ブリ奨学金制度という制度を行っており、卒業後に長島町に定住すれば、奨学ローンの返済を町が補填するという取り組みを行っている。財源は寄付やふるさと納税で賄っており、みんなが若者を応援するというのが雰囲気づくりができるのではと思っているが、そのようない方でも検討してみてもいいか。

の制度等を調査し、各課と調整して検討します。

問 教育長 対象児童は町内に住所を有する満1歳6ヶ月から就学前の児童で、対応日時は月曜日から金曜日までの午前8時30分から午後5時までとなっております。令和5年度は延べ61人の児童が利用されました。

問 富岡町を含む双葉郡の現在の子育て環境の調査が地域で活動する市民団体によって実施された。調査結果が5月に発表された。そこには、子どもの一時預かりに関する悩みが多く寄せられたとある。

問 現在、富岡町では、一時預かりについて土日は行っておらず、対象年齢も1歳6ヶ月から就学前までとなっており、1歳6ヶ月未満の子どもは対象外となっている。保護者からは利用しづらいとの声が上がっているが、町としての考えは。

年齢要件の引き下げも含め議員ご指摘の課題については、町政懇談会においても要望があり、必要性は認識しているものの、より高い安全性が求められることから、現在の職員数では対応することは困難であると考えています。必要な職員数の確保のため、職員採用にしっかりと取り組みます。



こども園内の一時預かり室

問 社会福祉協議会等と連携しファミリー・サポート・センターを立ち上げ、住民の力を借りて子育て環境を充実させるといふことも考えられるが、町としてはどのような考えを持って、子どもの一時預かり環境の課題に取り組んでいくのか伺いたい。

問 町長

震災前、本町のファミリー・サポート・センターは78名の会員が在籍し、相互利用をはじめ、会員同士の交流会も実施されるなど、子育て支援の一翼を担ってきました。今後、この制度を町民の皆様へ周知すると同時に、事業への参加希望を伺うなどして、体制が取れ次第、再開してまいりたいと考えています。



問 子育て支援で保健センターの活用を

答 子どもたちの環境づくりを推進

問 町長 保健センターの活用については、これまで通り乳幼児健診や発達相談会、離乳食教室などを開催するとともに、こうした機会を通じて子育て世代のニーズを把握し、より良い子育て支援サービスが提供できるよう関係機関と連携し、積極的に事業を展開していくこととしており、町政運営の柱の施策である子どもを地域全体で育てる「子どもたちの環境づくり」をしつかりと推進していきます。

問 妊娠期から子育て期にわたるまでの切れ目のない支援について提供・相談をする子育て世代包括支援センター事業所を、保健センターを活用して設置することを考えてみては。



保健センター

問 福祉課長 これまで2課にまたがっていた児童福祉部門と母子健康部門が一体となり、出産、妊娠期から子育て支援の時期を一体的に支援していくことを目的としています。児童に関する事務と併せて児童虐待などの福祉対策、母子健康保険として妊婦健診や乳幼児健診、産後ケアなどの母子保健全般について等、これまでの事業を更に充実させたいと考えています。

問 令和6年4月に創設された「子育て支援係」の事業内容は。また、どのようなことに重点を置き今後事業展開していく考えか。

問 町民相互による子育て支援の推進を図り、移住された方に限らず、周囲に頼れる人がいない方にいち早く手を差し伸べるのが町の在り方では。必要な時や困った時に利用できる場があることが、安心して子育てができる環境づくりに繋がると考える。

問 福祉課長 近隣町村との連携については、参考となる情報を収集している段階です。両者合意のもとでのお願いレベルでの預かり体制はできる可能性がありますが、近隣町村との連携は各町村において例規等での決まりもあり、今すぐの利用・連携は難しいのが現状です。

問 一時預かりの拡充として、子育ての「援助を行いたい人」と「援助を受けたい人」の相互援助活動であるファミリー・サポート・センター事業を活用できないか。子育てに関する知識を有する方や団体、近隣町村との連携により実施することも考えてみては。

答 発達障がい等の早期発見は大きい

問 5歳児健診の有効性について

問 福祉課長 相談する窓口や相手とというのはサポートにおける重要なキーパーソンで

ファミリー・サポート・センター事業制度を含む町独自の支援策についての検討は。

問 軽度発達障がい等は3歳児健診では発見が難しく、5歳くらいで発見できるという調査がある。早期発見・早期治療の開始が重要であり、就学時健診で発見されたのでは遅いとも言われている。町としては5歳児健診の有効性についてどのよう認識しているか。

問 福祉課長 発達障がいや発達障がい疑いの早期発見により療育機関へ繋ぐこともできていくことから、有効性は大きいものと考えます。

問 発達の特徴を持つお子さんが就学後の環境に適応できず、不登校や問題行動を起こしてしまうことは少なくない。就学時健診で発達障がいになるお子さんに対して、学校での対応やフォローアップ体制の充実はどのような流れか。

問 教育長 学校としては、町単独で採用している学習支援員を特別支援学級等に配置し、学級担任と共にひとりひとりの特性に合った支援、指導を行っています。



原子力等
特別委員会

【サンプリング場所の工夫を】



高橋実議員

処理水放出の際の海域モニタリングは海水の表層だけをサンプリングしているのか。深さによって流速が異なり拡散の状況が変わると思うので、それぞれ測って提示してもらいたい。

場所によっては海底などを測っている場所もありますが、トリチウムは水に似た性質のもので拡散性も高いため、基本的には表層のみのサンプリングです。海中や海底のモニタリングにつきましては、ご意見をもちかえり、対応の検討をします。



東京電力HD(株)

【廃炉に向けた今後の計画は】

冷温停止状態達成(2011年12月)から30年～40年後の廃炉措置完了が目標とあるが、すでに事故後14年目となっており、本当に目標通り廃炉措置が完了できるのか。



東京電力HD(株)

福島第一原子力発電所の廃炉作業は世界でも前例がない取り組みであり、燃料デブリの情報を始め、ひとつひとつ安全に解明しながら計画に反映することが大事と考えます。必要な情報がまだ揃わず難しい現状ですが、着実に、計画的に積み重ねていきます。

処理水に含まれる核種で、トリチウムだけではなく発電所事故由来の物質がどの程度海洋に放出されているのかを分かりやすく示してもらいたい。

本日はトリチウムの状況のみをお示ししていますが、処理水に含まれる核種が事故由来のものか発電所で通常発生するものか等の情報を分かりやすい形で発信できるよう努めます。



安藤正純議員

【周知の拡充を】



宇佐神幸一議員

これから海水浴シーズンとなるにあたり、不安払しょくのためにも海域モニタリングの結果は随時公表すべきでは。

モニタリング結果については東京電力及び国や様々な機関で実施しており、ホームページにおいて一元的にお示しできるシステムを設けています。今後も、広く伝わる工夫を継続します。



東京電力HD(株)

問 富岡駅前環境整備が遅れている

答 にぎわいづくり検討委員会を再開



平山 勉 議員

富岡駅前の環境整備はだいぶ遅れているが、町としてどういう考え、方向性があるのか。

町長

町は、平成31年3月に策定した「富岡駅前にぎわいづくりアクションプラン」において、様々な計画を立てましたが、コロナ禍において人流が抑制されたことに伴い、施設規模の再検討と財源の再調整が必要であることから、今後、一層慎重な検討が不可欠な状況です。町としましては、富岡駅前にぎわいづくり検討委員会において、富岡駅前及び周辺における人流・関係人口の拡大を図るとともに、町全体の復興・創生をめざします。

夜の森地区の景観を保全するために、これからのまちづくりの一環として、景観ガイドラインや景観計画を作った条例化してはどうか。

町長

富岡町は「福島県景観条例」及び「福島県屋外広告物条例」において、全域が景観計画区域に位置づけられており、加えて町独自の計画においては「用途地域」の設定や、桜地区の「地区計画」等があります。新たな規制等については、復興の進捗に合わせて慎重に検討してまいりたいと考えています。



多くの人に愛されている桜並木

富岡駅前にぎわいづくり検討委員会は、令和3年8月までに合計10回開催をされています。今年度は予算を計上してあり、再開していきます。

企画課長

町へ要望!

景観条例は県の条例と、市町村が独自に施行する条例が全国で約600例ほどあるもので、町が夜の森の桜をどれだけ大事にし、どれだけ誇りに思っているのか、或いは我々の世代が50年後の未来にどういう景観を残せるか、ほとんど建物がない今だからこそできることだと思つので、ぜひ検討してもらいたい。

問 病児・病後児保育の導入を

答 郡医師会や関係機関などに働きかけを検討

子育て支援の一環として病児・病後児保育の導入を検討できないか。

町長

病児・病後児保育は近隣では南相馬市の医療機関がこの6月に相双地区で初めて開所予定(現在は開所されています)であり、いわき市においては8箇所あることを把握しています。本町としても、事業実施をめざし、郡医師会や関係機関などに働きかけを行って参りたいと考えています。

福祉課長

病児・病後児保育については、人員の問題と入室前受診等のハードルがありますが、前向きに検討、調整していきたいです。

妊産婦の通院補助や町内の医療施設での妊婦健診のサポートを検討することはできないか。

町長

通院補助につきましては、導入している市町村を参考に、本町においても検討していきます。現在は国保加入の方を対象に、妊婦16週目以降にかかる歯科を含めた医療費の無償化を実施しています。この制度は郡内では本町のみが実施しているところであり、負担軽減につながるものと考えています。



総務文教常任委員会

総務文教常任委員会が調査した主な事業について報告します。

〔所管課〕
○総務課
○企画課
○税務課
○出納室
○住民課
○教育総務課
○生涯学習課
○議会事務局



※常任委員会とは①

本会議前に議案などを事前に審査したり、各課の事務の執行状況などを調査する場です。

＜機を逃さず国への要望を＞

Q 国会議員等の視察対応において、復興途上の地区や富岡川の北側と南側で復興の進捗に差がある部分なども見てもらい、富岡町の現状をより把握してもらえような視察ルートを検討してもらいたい。

A 国会議員等の視察ルートについては先方からの要望が大きく、全てのルートを町が決めるものではありませんが、その中でも帰還困難区域や復興途上である地区をご覧いただきながら要望をお伝えしています。



【総務課】

＜移住定住促進の取り組みについて＞

Q 6月に東京都で行われた町独自相談会の内容は。また、町ではどのようなPRをしているのか。

A 昨年度までの出展において仕事や住まいに関する相談が多かったことを踏まえ、商工会にも同行いただいて多く寄せられる質問内容に答えられる体制で行いました。今後は子育て世帯や、幅広い相談に対応できるよう取り組みます。
また、相談者が何を求めているのかをしっかりと聞きとって、次の相談会に活かし、更には移住定住の増加につなげていく考えです。

【企画課】

＜町のにぎわい創出のため県と協働を＞

Q 富岡町に人が集まりにぎわうようなイベントを福島県に協力してもらえよう、福島県との意見交換の際に強く要望すること必要では。

A 富岡町へ多くの方々に来てもらうことが重要であり、ソフト事業の充実は大事な視点と認識しています。今後も機会を捉えて県などにもイベント開催や交流・関係人口の拡大の取り組みをお願いしていきます。



【企画課】

＜子育て支援について＞

Q 認定こども園で行っている子育て支援センターでの育児支援の内容は。

A 子ども同士のコミュニケーション能力の醸成と、保護者同士の交流や情報交換をしていたくという場を作っています。

【対象者】

町内に居住する就学前のお子さんとその保護者

【開設時間】

月曜日～金曜日
9時30分～11時、13時半～15時
※園行事等で休みになる場合があります



こども園内にある子育て支援センター

【教育総務課】

＜園児受け入れの体制拡充を＞

Q にこにここども園における0歳児の受け入れ月齢が10カ月以上だが、引き下げることできないか。

A 町政懇談会でも要望があり、町としても必要性を感じているところです。しかしながら更なる安全安心への対策が非常に重要となり、人員の確保が課題となっています。
人員の拡充により安全の確保ができる段階になりましたら、検討していきます。

【教育総務課】

＜博物館としての取り組みは＞

Q アーカイブ・ミュージアムにおいて行っている実習や研修の受け入れの内容は。

A 学生、企業、地方公共団体などの実習・研修を受け入れています。学生は震災遺産の保全や埋蔵文化財・古文書の取り扱いなどが多く、企業・地方公共団体は震災時に富岡町が辿った避難経路や避難後の町内の情報収集方法の検討など、震災遺産の研究や活用に関する研修が多い傾向にあります。



【生涯学習課】

産業厚生常任委員会

産業厚生常任委員会が調査した主な事業について報告します。

【所管課】
○産業振興課
○都市整備課
○農業委員会
○生活環境課
○いわき支所
○郡山支所
○福祉課
○健康づくり課



※常任委員会とは②

全議員が必ずどちらかの常任委員会に所属します。
行政視察や事業の現地視察も実施します。

＜ 除草で安全確保を ＞

Q お墓参りに来られる町民のため、町道の除草がお盆の時期間近とならないよう、余裕を持った計画で実施してもらいたい。また、交差点における視距確保のため、除草と同時に除草剤の散布を。

A 除草の時期は受託者と調整します。また、交差点付近は除草剤を早めに散布するよう検討します。

【都市整備課】

＜ 消防団加入促進のために ＞

Q 消防団入団促進事業として、町内在勤者の加入促進に向けた企業訪問は町と消防団共同で行っているのか。

A 昨年度は本団幹部と町職員と一緒に企業訪問を行いました。本年度は、地元の分団員と一緒に訪問することも計画しています。



【生活環境課】

＜ 広く伝える周知方法を ＞

Q 毎年6月第一日曜日に行われている花いっぱい運動について、若い方からも参加したいが詳細が分からないという声があるので、広く周知してもらいたい。

A 基本的に行政区及び前年度にご参加いただいた団体の方に対し、参加の有無や花の希望本数等のアンケートをとり確認を行っているもので、全体への周知は行っていないのが現状です。いただいた意見をもとに行政区等とも相談をして、参加者が更に増えるような工夫を考えます。



毎年行われる花いっぱい運動により町内が花で彩られる

【生活環境課】

＜ 桜並木の保全について ＞

Q 今年度、富岡第二中学校跡地東側の桜並木の保全を行う予定だが、二中以北の保全も必要では。

A 過去の樹木診断において、桜の状況が悪かったところから事業を進めたく、今年度は二中東側の保全を行う予定です。

なお、二中以北は一番の見どころと認識していますので、今後、二中以北の桜の保全についてもしっかりと検討します。



今年度保全予定の二中跡地東側の桜

【産業振興課】

＜ 出張販売の拡充 ＞

Q 定期的に衣料品の出張販売を実施しており、今後は衣料品に加えて町内で不足している業種の出張販売も検討しているとのことだが、どのような業種か。

A 今後、町内で何が必要とされているか情報を収集しながら進めます。

【産業振興課】

＜ 富岡町の農業発展のために ＞

Q 農業を軸とした六次化・特産品化を含む地域活動を行う地域おこし協力隊への支援とあるが、農業への協力と六次化・特産品化は別物と考える。どちらを主軸に考えているのか。

A 地域おこし協力隊は、隊員の受入先となる個人営農者や農業法人から要望をいただき、町から委託して雇っていただく形です。農業へ協力していただける方や、農業を軸とした六次化・特産品化を含む地域活動をしてくださる方等、必要な分野の方を、様々な状況に対応できるよう門戸を広げ募集しています。

【産業振興課】

町の重点事業について 徹底議論!!

◆令和6年度第1回リフレ富岡跡地の利活用について(5月23日)

(産業振興課)

問 買い物環境と温浴施設について、町民のニーズに合ったものが必要であり、造ることには賛成。できるだけの町の支出が少なくなるような手法で進めてもらいたい。(渡辺三男)

答 産業振興課
設計・建築、運営を民間に委託するDBO方式※のため、運営に関して町の支出はありませぬ。建物自体は町の所有となるため固定資産税等々は町負担となりますが、事業者への相当の支援となり、末永く事業展開していただけることと考えています。

問 DBO方式※に参画する事業者がいなかった場合、町は異なる方法で同様の施設を造るのか。(渡辺正道)

答 産業振興課
万が一参画がなかった場合でも、要求水準書を見直し、DBO方式※で進めたいと考えています。

問 人が増えるのを待つて物造るのではなく、先に物を造って人を集める必要がある。これ以上の時間をかけると、夜の森を忘れられてしまうのでは。(高野匠美)

答 町長
にぎわいを取り戻すため、核となる施設を造りながら、人が集うような場所の整備を迅速に進めたい考えです。

問 人を呼ぶことが一番のポイントと考えるので、要求水準書作成の時点で様々なアイデアを加味してもらうとともに、町の施設であることから、厳しい目で見て進めてもらいたい。(佐藤啓憲)

答 産業振興課
にぎわいに関しては、町単独ではなく民間の方々の協力や知恵をいただきつつ、国や県とともにこの地域で何か

できることがないかのアドバイスやご支援をいただきながら取り組みます。また、町として厳しい目でしっかりチェックします。

問 夜の森の名所として考えると、何を基本にするかが定まっていないう状況において、事業ばかり先行しているように見えるが。(宇佐神幸二)

答 企画課
健康増進という流れの中、夜の森公園、つつみ公園、そしてこの施設を一体化し、心地よく滞留できるような計画について、復興計画にも盛り込みつつ、アクションプラン等を作成していきたいと考えています。

※DBO方式とは
公共側が資金を調達し、民間事業者が設計・建設・運営を一体的に委託する事業方式です。

◆除染解体工事及び中間貯蔵施設への輸送並びに特定廃棄物埋立処分事業の状況について(6月14日)

(環境省)

問 小良ヶ浜・深谷地区へ帰還を希望する住民が不安なく帰還できるよう、どこまで放射線量を下げられるかが一番の問題と考える。(渡辺三男)

答 環境省
これまで行ってきた手法や知見を積み重ねた結果も踏まえ、安心して帰還いただけるよう、場所ごとによく検討し、関係人や地元の方とも相談しながら放射線量の低減を進めていきたいと考えています。

問 除染・解体の進捗を数字だけではなく地図にするなど、資料の見える化を図ってもらいたい。(佐藤啓憲)

答 環境省
今後に向け、除染の進捗状況など数字も含めて具体的に示していきたいです。

問 除染や解体工事の進捗を把握するため、現地確認をしっかりと行ってもらいたい。(安藤正純)

答 環境省
環境省としても、現場に足を運び進捗を把握した上でご報告・ご説明をします。

～学校訪問レポート～

富岡小・中学校
放課後児童クラブ



令和6年7月9日に、総務文教常任委員会において学校訪問を実施しました。

○富岡小・中学校
児童・生徒数 小学校 61名
中学校 20名
(令和6年5月1日時点)



学校長との意見交換



授業風景を視察

○放課後児童クラブ
登録者数 33名
(令和6年7月9日時点)

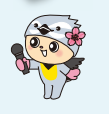


職員からの概要説明



児童の利用状況を視察

意見交換



問 プールの安全確保と熱中症リスクの対策を徹底してもらいたい。(安藤正純)

答 学校長
プールには台を置いて水深を調整したり、教員の適切な配置などで安全確保に努めます。熱中症対策としては気温等の状況によってルールを決め、健康被害がないよう対策を講じています。

問 中学3年生への受験対策は。また、放課後児童クラブへのお迎えの保護者の確認はどうしているか。(高野匠美)

答 学校長
夏休みや、部活動のある土曜日など、学校で学習ができるよう調整していく考えです。

答 教育総務課
放課後児童クラブは事前登録制であり、登録のある保護者に児童を引渡しています。登録のない方がお迎えに来た場合は必ず保護者に電話確認した上で引渡しています。

問 教職員の過重労働が問題となっている。勤務時間の管理を。(宇佐神幸二)

答 学校長
働き方改革として、勤務時間の余裕確保、工夫しています。



Badminton

TEAM JAPAN

富岡第一中学校出身の5名が2024パリオリンピックに
バドミントン日本代表選手として出場!!

富岡町議会も町とともに応援しています



7月3日に富岡町総合体育館で開催された「2024パリオリンピックバドミントン競技出場選手壮行会」の様子は、町公式Youtubeで見られるっぴ♪

議会を傍聴しませんか？

- 9月定例会は、17日(火)～20日(金)の会期で開催する予定です。
 - 所定の用紙に、住所(市町村名まで)・氏名・性別・年齢を記入いただくだけで、どなたでも傍聴することができます。
 - 審議日程など、詳細については議会事務局までお問い合わせください。
- 議会事務局 ☎0240-22-2111(代表)



発行責任者
議長 堀本典明

議会広報特別委員会
委員長 佐藤啓憲
副委員長 辺見珠美
委員 平山 勉
委員 高野匠美

この度、改選後新しい議会体制になってから初めての6月定例会が開催されました。一般質問の際には多くの方が傍聴にお越しください、ありがたい限りと感じました。今後も多くの方々に傍聴いただけるような内容の濃い一般質問ができればと思います。皆様とのコミュニケーションを大切にし、より良い富岡町を築いていくために努力してまいります。議会に対して、引き続きご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

また、議会広報特別委員会では、親しみやすい議会を目指して、さらには皆様により一層興味関心を持っていただけるような広報を心がけてまいりますので、ご意見やご要望、感想などありましたらぜひお寄せください。

(辺見 珠美)

編集後記

FSC® の基準に従って認証され、適切に管理された森からの木材を含んだ用紙を使用して印刷しています。

